

歴史は未来の羅針盤



『近江日野の歴史』第一巻「自然・古代編」、第五巻「文化財編」を刊行しました。平成二〇年三月末に第六巻「民俗編」を刊行する予定です。各公民館や教育委員会において一冊四、〇〇〇円（税込み）で販売しています。ぜひお買い求めください。

『近江日野の歴史』 第三回配本「民俗編」

『近江日野の歴史』第六巻「民俗編」を平成二〇年三月末に刊行する予定です。今回はその主な内容についてご紹介します。

第一章「地域の暮らし」は、地域組織・信仰集団・産業などの特徴をまとめます。マチやムラという地域組織は、時代とともにその仕組みや役割が大きく変化しました。各地域の現状をふまえた上で、伝統的な地域のしくみやしきたりなどを記録します。また、社寺・講などの信仰集団は比較的古式を留めており、当町に特徴的なものが残されています。また、農業などの諸産業も近代化により大きく変化し、現在では見られなくなつた産業や職業もあります。記録や記憶に残るかつての人々の生計の立て方などを取り上げます。

第二章の「人とイエの暮らし」は、戦後に激変する以前の各家庭での生活の様子を取り上げます。人とイエのつながり、衣食住に代表される生活様式、人の生から死に至るまでの節目の行事など、近代化により大きく変化した生活ぶりや風習などをまとめます。また、科学や医療の進歩により、現在ではほとんど伝えられなくなった俗信や民間療法なども取り上げます。

第三章「四季の祈り」は、当町で特徴的といえる民俗行事を扱います。山の神・精霊・地藏盆・野神など四季折々に行われる神仏や先祖への祈りは、五穀豊穰・子孫繁栄・無病息災などを祈願するものです。これらの行事も生活様式の変化により年々変貌し、中にはその本来の意義が忘れ去られ、形骸化したものもあります。このような社会的な流れの中でも、当町には古来の作法や風習を伝える伝

統的な民俗行事が数多く残されています。将来的には、後世に引き継がれなくなる恐れも多分にあるこれらの行事を克明に記録します。



▲熊野神社お祈り（熊野）

第四章の「日野の祭り」では、当町を代表する祭礼行事であるホイノボリの祭り・日野祭・火振り祭・芋競べ祭を取り上げます。祭りの様子や流れだけでなく、歴史的な意義などについても詳しく紹介します。

第五章「受け継がれた伝承」は、

現在ではほとんど見られなくなつた子どもの遊び、童謡や労働歌などの歌謡、伝説や昔話をできる限り収録し、記録化することを目指します。

伝統的な風習や行事である民俗文化は、時代とともに変貌または消失する宿命を持つ生きた文化です。それらを人々の記憶にだけ留めるのではなく、文章や写真などで記録しておくことが必要です。皆さんの身近にありながら、その詳細が知られていない民俗文化も多くあると思われまますので、ぜひ一読ください。

『近江日野の歴史』は、各巻四千円（消費税込み）です。なお、「民俗編」は平成二〇年三月末日までにご予約いただきますと、三千八百円の割引価格となります。また、最終巻が無料となる全巻セット購入の受付もしております。詳しくは、まもなく配布しますフリーレットをご覧ください。日野町の民俗文化を網羅したこの一冊をぜひお買い求めくださいますようお願いいたします。また、第一巻「自然・古代編」、第五巻「文化財編」も好評販売中です。